



# SSHレターズ

長崎県立大村高等学校  
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/19号 2019/10/31

## 11月のSSH事業のお知らせ

- ・住居セミナー（2年家政科）  
期日 11月6日（水）  
テーマ インテリアの色彩
- ・英語プレゼン研修（2年数理探究科）  
期日 11月15日（金）  
目的 12月のアメリカ研修での課題研究発表に向けて、英語でのプレゼンテーション力の向上を図る。
- ・連携講座（1年全学科）  
期日 11月18日（月）  
講師 大学・研究機関から計10名の方を招待
- ・探究活動情報交流会（2年普通科）  
期日 11月中旬  
目的 他者から、課題発見の視点や検証方法などの情報を得たり、アドバイスを得たりすることで自らの探究を深めていく。

### ◆地域連携講座（1年全学科）

10月24日（木）7限目、1学年を対象に大村市企画政策部企画政策課より講師として町田康佑氏（本校OB）を招き、「大村市の取組概要」というテーマで講義をいただきました。目的は、大村市の現状を知り、課題を発見し、高校生ならではの解決策を考える機会にすることです。講義後の質疑応答の時間では、「働きながら学べる学校をつくってはどうか？」などの提案がなされるなど、自分の問題として捉える発言が見られました。

以下に、生徒の感想の一部を紹介します。

- ・日ごろ考えることの少なかった大村について、たくさんを知れて嬉しかった。
- ・大村市は長崎県内で唯一人口が増加しているが、将来的に減少することにとっても驚いた。
- ・将来的、大村市に貢献できるような活動を行い、誰でも暮らしやすい街にしたい。
- ・大学などを誘致して学問の街づくりをしてはどうか。

～スライドの一部分を紹介～  
<人口減少の影響（例）>

- ・生活水準の低下
- ・税収入による行政サービス水準の低下
- ・地域コミュニティの機能低下
- ・空き家、空き店舗等の増加



講義のようす

### ◆環境セミナー（家政科2年）

10月9日（水）、長崎大学環境科学部より利部 慎准教授をお招きし、「水環境」をテーマにした講義と実習を行いました。まず、世界の水問題についての学習を通じ、水が地域によっては枯渇し、争いや死者を招いていることなどを知り、水がいかに重要であるかを理解しました。次に、水の飲み比べや校内にある水の採取・分析を通じ、自然環境や人的環境の違いが、味や成分・濃度などと密接に関わっているということを理解しました。今回のセミナーを通じ、水環境についての関心を高めるとともに、実感を伴った深い理解が得られたと思います。



講義のようす



汚れの測定（バックテスト）の様子

### ◆医療センター研修（数理探究科1年）

10月7日（月）、長崎医療センターでの研修を行いました。はじめに江崎院長より、全ての医療を担当すること、災害時の拠点かつ救命センターの中核としての役割を果たすことなど医療センターの使命等についての講義を受けました。さらに、エコー診断の実演、MRIやCTスキャンおよびその画像処理過程についての説明、救急医療室などの見学を行いました。生徒たちは、緊張感ある医療現場の空気を肌で感じたようでした。最後に、実際に飛来するヘリを見ることができ、フライトドクターや操縦士の方から現場の声を聞くことができました。この研修は生徒の憧れを膨らませ、夢実現のための決意を新たにする良い機会となりました。

